

資料13-1 有害大気汚染物質のモニタリング結果

1 有害大気汚染物質のモニタリング結果(年平均値) (令和2年度)

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$) (重金属及びベンゾ[a]ピレン: ng/m^3)

物質名	測定局	全国標準監視地点		地域特設監視地点		市内平均	環境基準 【指針値】
		(北区) 菅北小学校	(平野区) 摂陽中学校	(大正区) 平尾小学校	(西淀川区) 出来島小学校		
環境基準 設定項目	ベンゼン	0.68	0.64	-	0.97	0.76	$3\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下
	トリクロロエチレン	0.34	0.40	-	-	0.37	$130\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下
	テトラクロロエチレン	0.16	0.23	-	-	0.20	$200\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下
	ジクロロメタン	2.0	2.4	2.6	-	2.3	$150\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下
指針値 設定項目	アクリロニトリル	0.060	0.051	-	-	0.056	【 $2\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下】
	塩化ビニルモノマー	0.024	0.031	-	-	0.028	【 $10\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下】
	水銀及びその化合物	2.0	1.8	-	-	1.9	【 $40\text{ngHg}/\text{m}^3$ 以下】
	ニッケル化合物	3.9	2.0	8.5	7.3	5.4	【 $25\text{ngNi}/\text{m}^3$ 以下】
	クロロホルム	0.33	0.25	-	-	0.29	【 $18\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下】
	1,2-ジクロロエタン	0.14	0.13	-	-	0.14	【 $1.6\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下】
	1,3-ブタジエン	0.10	0.099	-	0.27	0.16	【 $2.5\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下】
	ヒ素及びその化合物	1.4	1.2	-	-	1.3	【 $6\text{ngAs}/\text{m}^3$ 以下】
	マンガン及びその化合物	21	15	-	-	18	【 $140\text{ngMn}/\text{m}^3$ 以下】
	アセトアルデヒド	2.6	2.4	-	8.2	4.4	【 $120\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下】
	塩化メチル	1.4	1.4	-	-	1.4	【 $94\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下】
その他	ホルムアルデヒド	4.7	3.7	-	4.3	4.2	-
	酸化エチレン	0.065	0.074	-	-	0.070	-
	ベンゾ[a]ピレン	0.10	0.098	-	0.14	0.11	-
	クロム及びその化合物	4.1	2.7	-	-	3.4	-
	六価クロム化合物	0.089	0.10	-	-	0.095	-
	バリリウム及びその化合物	0.013	0.0095	-	-	0.011	-
	トルエン	6.2	6.8	-	7.7	6.9	-
	キシレン	1.9	1.5	-	-	1.7	-

(注) - 印は、分析を実施していないことを示す。

2 有害大気汚染物質のモニタリング各調査地点における測定項目の種類

	物質名	全国標準監視地点		地域特設監視地点	
		(北区) 菅北小学校	(平野区) 摂陽中学校	(大正区) 平尾小学校	(西淀川区) 出来島小学校
揮発性有機化合物	ベンゼン	○*1	○*1	—	○*3
	トリクロロエチレン	○*1	○*1	—	—
	テトラクロロエチレン	○*1	○*1	—	—
	ジクロロメタン	○*1	○*1	○*2	—
	アクリロニトリル	○*1	○*1	—	—
	塩化ビニルモノマー	○*1	○*1	—	—
	クロロホルム	○*1	○*1	—	—
	1,2-ジクロロエタン	○*1	○*1	—	—
	1,3-ブタジエン	○*1	○*1	—	○*3
	トルエン	○*1	○*1	—	○*3
	キシレン類	○*1	○*1	—	—
	塩化メチル	○*1	○*1	—	—
アルデヒド類	ホルムアルデヒド	○*1	○*1	—	○*3
	アセトアルデヒド	○*1	○*1	—	○*3
多環芳香族炭化水素類	ベンゾ[a]ピレン	○*1	○*1	—	○*3
重金属類	ニッケル化合物	○*1	○*1	○*2	○*2
	マンガン及びその化合物	○*1	○*1	—	—
	バリウム及びその化合物	○*1	○*1	—	—
	クロム及びその化合物	○*1	○*1	—	—
	六価クロム化合物	○*1	○*1	—	—
	ヒ素及びその化合物	○*1	○*1	—	—
	水銀及びその化合物	○*1	○*1	—	—
	酸化エチレン	○*1	○*1	—	—

注 ○印は分析する項目を、また—印は測定しない項目を示す。

○印の横にある数値は、分析項目ごとの属性を示す。【*1:一般環境、*2:固定発生源周辺、*3:沿道】

資料13-2 ダイオキシン類環境調査結果(令和2年度)

1. ダイオキシン類環境調査結果の概要

項目		調査地点数	最大値	最小値	平均値	単位	環境基準	環境基準達成状況	
大気		3	0.047	0.036	0.042	pg-TEQ/m ³	0.6pg-TEQ/m ³ 以下 (年間平均値)	3/3	
公共用水域	水質	河川	21	0.78	0.063	0.27	pg-TEQ/L	1pg-TEQ/L以下 (年間平均値)	21/21
		海域	2	0.094	0.084	0.089			2/2
	底質	河川	21	250	2.1	51	pg-TEQ/g	150pg-TEQ/g以下	19/21
		海域	2	100	2.5	51			2/2
地下水質		1	0.034	0.034	0.034	pg-TEQ/L	1pg-TEQ/L以下 (年間平均値)	1/1	
土壌		2	16	3.0	9.5	pg-TEQ/g	1,000pg-TEQ/g以下	2/2	

2. 大気調査結果

(単位:pg-TEQ/m³)

調査地点	令和2年度 年平均値	測定結果の 最小値～最大値	年間測定 回数	(参考) 令和元年度 年平均値
平尾小学校(大正区)	0.047	0.037 ~ 0.057	2	0.074
淀中学校(西淀川区)	0.043	0.036 ~ 0.050	2	0.060
摂陽中学校(平野区)	0.036	0.031 ~ 0.040	2	0.077

(注)1. 環境基準:年間平均値で0.6pg-TEQ/m³以下

2. 試料採取日: 夏季:令和2年8月20日~27日 冬季:令和3年1月14日~21日

3. 水質・底質調査結果(河川・海域)

(単位:pg-TEQ/L(水質)、pg-TEQ/g(底質))

調査地点		水質	底質	調査地点		水質	底質
河川	桜宮橋 (大川)	0.20	33	河川	南弁天橋 (平野川)	0.23	22
	天神橋[右] (堂島川)	0.23	8.4		本町橋 (東横堀川)	0.32	5.2
	天神橋[左] (土佐堀川)	0.28	7.0		下城見橋 (第二寝屋川)	0.20	34
	大黒橋 (道頓堀川)	0.29	39		今津橋 (寝屋川)	0.72	5.0
	北港大橋下流700m (正蓮寺川)	0.11	28		京橋 (寝屋川)	0.51	2.1
	春日出橋 (六軒家川)	0.20	62		小松橋 (神崎川)	0.21	6.8
	天保山渡 (安治川)	0.063	36		千船橋 (神崎川)	0.15	250
	基兵衛渡 (尻無川)	0.13	73		大阪港関門外	-	-
	千本松渡 (木津川)	0.16	100		南港	0.094	2.5
	船町渡 (木津川運河)	0.16	220		神崎川河口中央	-	-
	城見橋 (平野川)	0.18	44		淀川河口中央	-	-
	天王田大橋 (平野川分水路)	0.20	11		木津川河口中央	0.084	100
	徳栄橋[中茶屋橋]* (古川)	0.78	42		No.5 プイ跡	-	-
	住之江大橋下流1100m (住吉川)	0.27	47				
					海域		

(注) 1. 環境基準……水質:年間平均値で1pg-TEQ/L以下、底質:150pg-TEQ/g以下

2. 試料採取日……水質:年1~4回実施 令和2年4月27日~令和2年12月11日

底質:年1回実施 令和2年5月25日~28日

3. *は【 】内に示した地点で底質の採取を行った。

4. 海域調査地点(6地点)は3年に1度の頻度で調査を実施している。

4. 地下水質調査結果 (単位:pg-TEQ/L)

調査地点	調査結果
中央区千日前	0.034

1. 環境基準:1pg-TEQ/L以下(年間平均値)

2. 試料採取日:令和2年12月14日

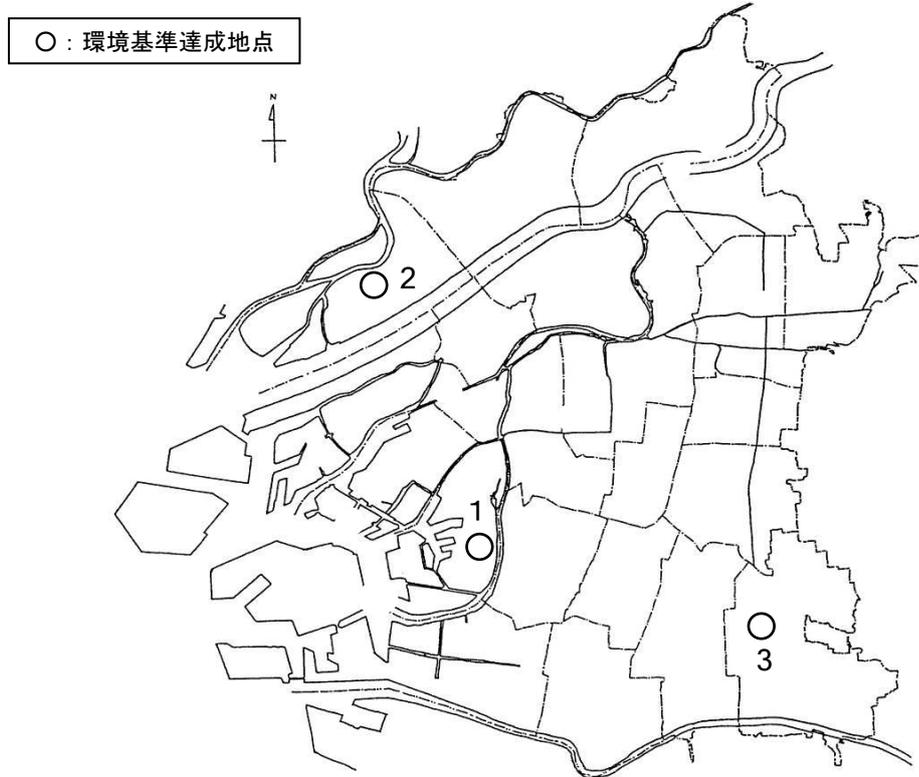
5. 土壌調査結果 (単位:pg-TEQ/g)

調査地点	調査結果
摂陽中学校(平野区)	16
北淀公園(東淀川区)	3.0

(注) 1. 環境基準:1,000pg-TEQ/g以下
(調査指標値:250pg-TEQ/g以上)

2. 試料採取日:令和2年8月19日

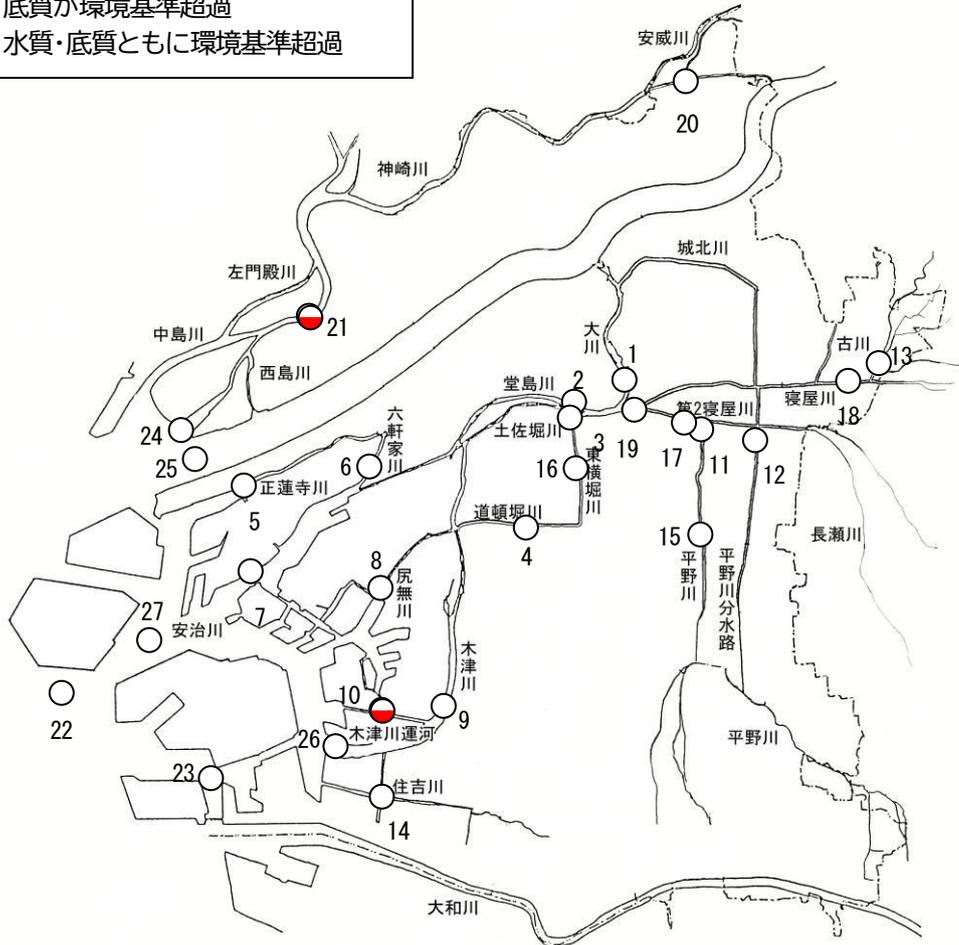
資料13-3 ダイオキシン類(大気)環境基準達成状況図(令和2年度)



No.	地点名
1	平尾小学校(大正区)
2	淀中学校(西淀川区)
3	摂陽中学校(平野区)

資料 13-4 ダイオキシン類(水質・底質)環境基準達成状況図(令和2年度)

- 【凡例】
- 水質・底質ともに達成
 - 水質が環境基準超過
 - ◐ 底質が環境基準超過
 - 水質・底質ともに環境基準超過



No.	調査地点	河川名等	No.	調査地点	河川名等
1	桜宮橋	大川	15	南弁天橋	平野川
2	天神橋[右]	堂島川	16	本町橋	東横堀川
3	天神橋[左]	土佐堀川	17	下城見橋	第二寝屋川
4	大黒橋	道頓堀川	18	今津橋	寝屋川
5	北港大橋下流700m	正蓮寺川	19	京橋	寝屋川
6	春日出橋	六軒家川	20	小松橋	神崎川
7	天保山渡	安治川	21	千船橋	神崎川
8	甚兵衛渡	尻無川	22	大阪港関門外	海域
9	千本松渡	木津川	23	南港	海域
10	船町渡	木津川運河	24	神崎川河口中央	海域
11	城見橋	平野川	25	淀川河口中央	海域
12	天王田大橋	平野川分水路	26	木津川河口中央	海域
13	徳栄橋[中茶屋橋]*	古川	27	No.5パイ跡	海域
14	住之江大橋下流1100m	住吉川			

(注)1. *印は、底質を【 】内の地点で採泥したことを示す。

2. 海域調査地点(6地点)は、平成28年度から3年に1度の頻度で調査を実施している。

なお、「大阪港関門外」、「神崎川河口中央」、「淀川河口中央」、「No.5パイ跡」の達成状況は、直近(平成30、令和元年度)の調査結果により記載した。

資料13-5 ダイオキシン類対策特別措置法に基づく届出件数

(令和2年度)

種 類 区 分	設置届	使用届	構造 変更届	廃止届	氏名 変更届	承継届	合計
大気基準適用施設	1	0	1	2	4	0	8
水質基準対象施設	0	0	0	0	0	0	0

資料13-6 特定施設における排出ガス中等のダイオキシン類濃度

(1)排出ガス

(令和2年度)

施設の種類		報告施設数	測定結果 ng-TEQ/m ³ N	排出基準 ng-TEQ/m ³ N
製鋼用電気炉		7	0.000032~0.99	5(既設)
廃棄物焼却炉	焼却能力 4t/h以上	8	0.000040~0.11	1(既設)
		9	0~0.0095	0.1(新設)
	2t/h以上 4t/h未満	4	0.0000017~1.0	5(既設)
		1	0.00023	1(新設)
	2t/h未満	6	0.025~8.4	10(既設)
		3	0.0000014~1.3	5(新設)

(2)排水水

(令和2年度)

特定施設の種類の種類	報告 事業場数	測定結果 pg-TEQ/L	排出基準 pg-TEQ/L
廃棄物焼却炉 (廃ガス洗浄施設)	1	0.061	10
下水道終末処理施設	4	0.00064 ~0.0020	10

資料13-7 PRTR法及び府条例に基づく排出量等の届出件数

届出件数			
PRTR法	府条例(排出量等)	府条例(管理計画書)	府条例(管理目標)
404	334	8	178

※令和2年度に届出された令和元年度排出量等に関する届出件数

資料 13-8 PRTR法及び府条例に基づく届出排出量・移動量・取扱量

(単位:トン)

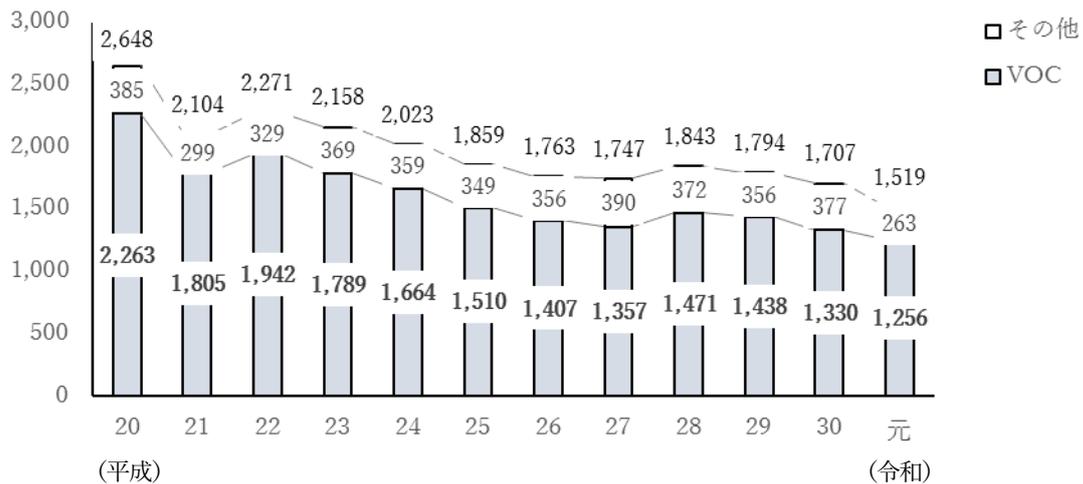
排出量				移動量		取扱量
大気	公共用水域	土壌	埋立	下水道	廃棄物	
1,308 (1,255)	211(1)	0	0	136 (130)	5,445 (3,970)	540,425 (378,658)
1,519(1,256)				5,581(4,100)		

※令和2年度に届出された令和元年度排出量等

()内は揮発性有機化合物

資料 13-9 PRTR法及び府条例に基づく届出排出量の推移

(t/年)



資料 13-10 ダイオキシン類の大気排出量(推計)

(単位:g-TEQ/年)

施設種類		平成9年度	令和元年度
ダイオキシン類対策 特別措置法特定施設	廃棄物焼却炉	26	1.20
	製鋼用電気炉	9.8	4.12
	鉄鋼業焼結炉	0.86	0
	アルミニウム合金製造施設	0.0042	0
合計		36.7	5.3

※四捨五入の関係で各欄の値の合計と、合計値が一致しないものがある。